
2014年度 事業報告書

より良い 2015年度を創りだすため



特定非営利活動法人
今治 NPO サポートセンター

2014 年度総括

新今治市誕生 10 周年の節目の年は「瀬戸内しまのわ 2014」で賑わいました。400 以上のイベントが瀬戸内エリアで開催され、今治市内でも数々の交流が生み出されました。これを機に新しい団体を立ち上げたり、既存グループが新しい事業を企画したり、躍動的な活動に出会いました。当センターでは、こうした活動に参加したり、現場の様子を伝えたりする事業を展開しました。市内の高校生たちをはじめとする市民活動未経験者を募り、現場へ足を運びました。中には、「はじめて島に行きました」という高校生もおり、市民活動の機会提供はもちろん、広域な今治市のフィールドに目を向ける機会にもなりました。

広域な今治市と言え、12 市町村合併で抱えた公共施設の多さは懸案事項になっています。施設の見直しが進む中、指定管理者として運営をする「今治市民活動センター」も、利用状況や運営についての評価が進んでいます。もともと、「活動拠点が無い」という課題を抱える市民活動団体の拠点整備としてオープンした施設。会議室使用料は無料で、貸事務所も低価格の設定です。今後利用料収入を大きく見込むものではありませんが、活動の拠点を得た登録団体の皆さんの活動の意義を評価し、施設の存在価値を検証したいと思います。

以下に 2014 年度の報告をまとめました。会員の皆様におかれましては、ご意見、ご批評をいただくとともに、引き続きセンターの事業をささえていただきたくお願い申し上げます。

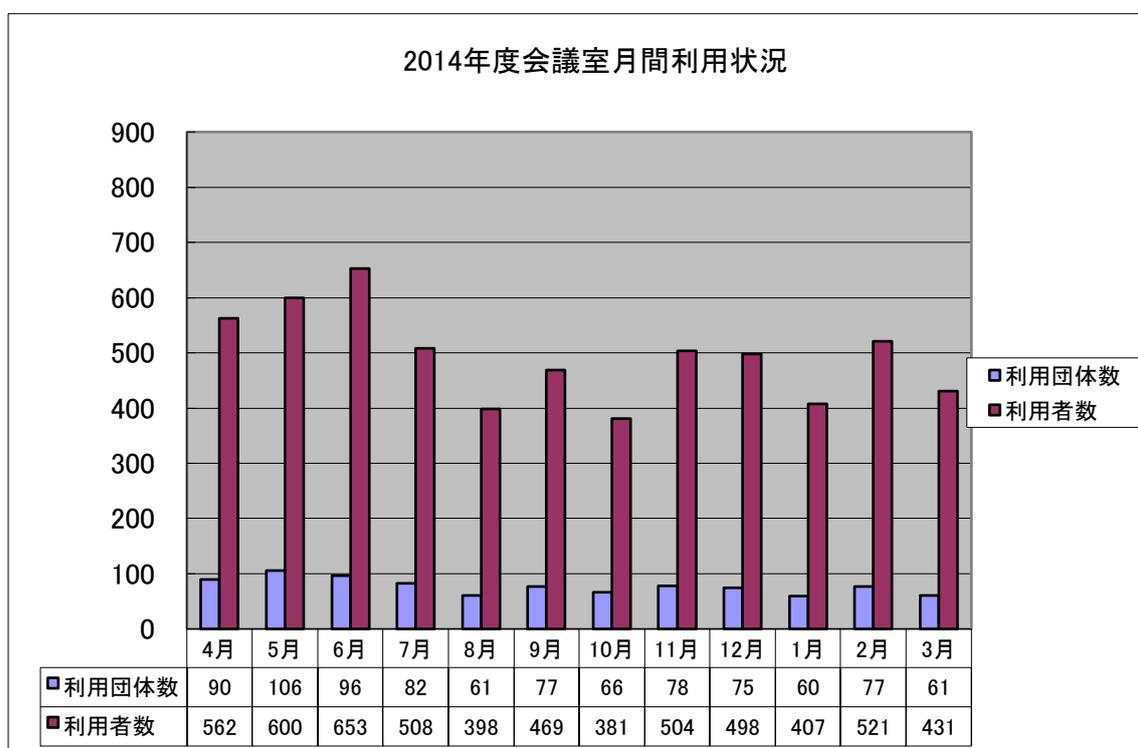
目次

I	2014 年度総括	1
II	2014 年度事業報告	2
1.	今治市民活動センター管理運営事業	2
2.	その他の事業	14
3.	会議に関する事項について	16
III	2014 年度決算報告	15
IV	2014 年度事業及び予算	22
1.	2014 年度事業計画書	22
2.	2015 年度事業予算書	28

2014年度センター利用状況詳細

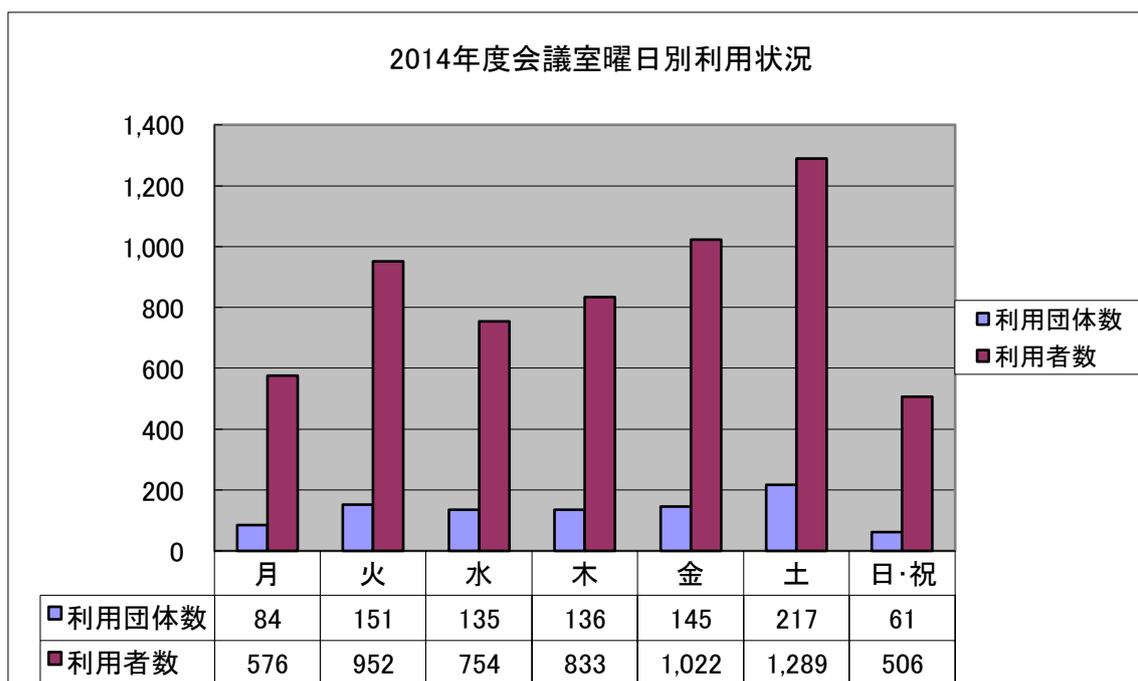
【センター利用状況(月間)】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用団体数	90	106	96	82	61	77	66	78	75	60	77	61	929
利用者数	562	600	653	508	398	469	381	504	498	407	521	431	5,932



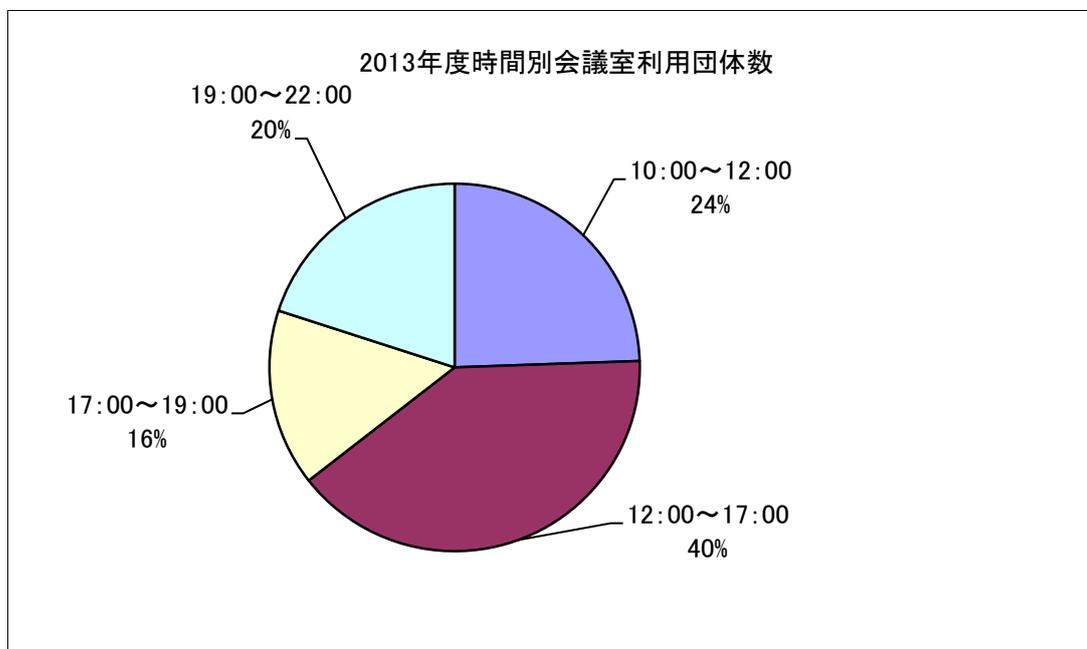
【センター利用状況(曜日別)】

	月	火	水	木	金	土	日・祝	合計
利用団体数	84	151	135	136	145	217	61	929
利用者数	576	952	754	833	1,022	1,289	506	5,932



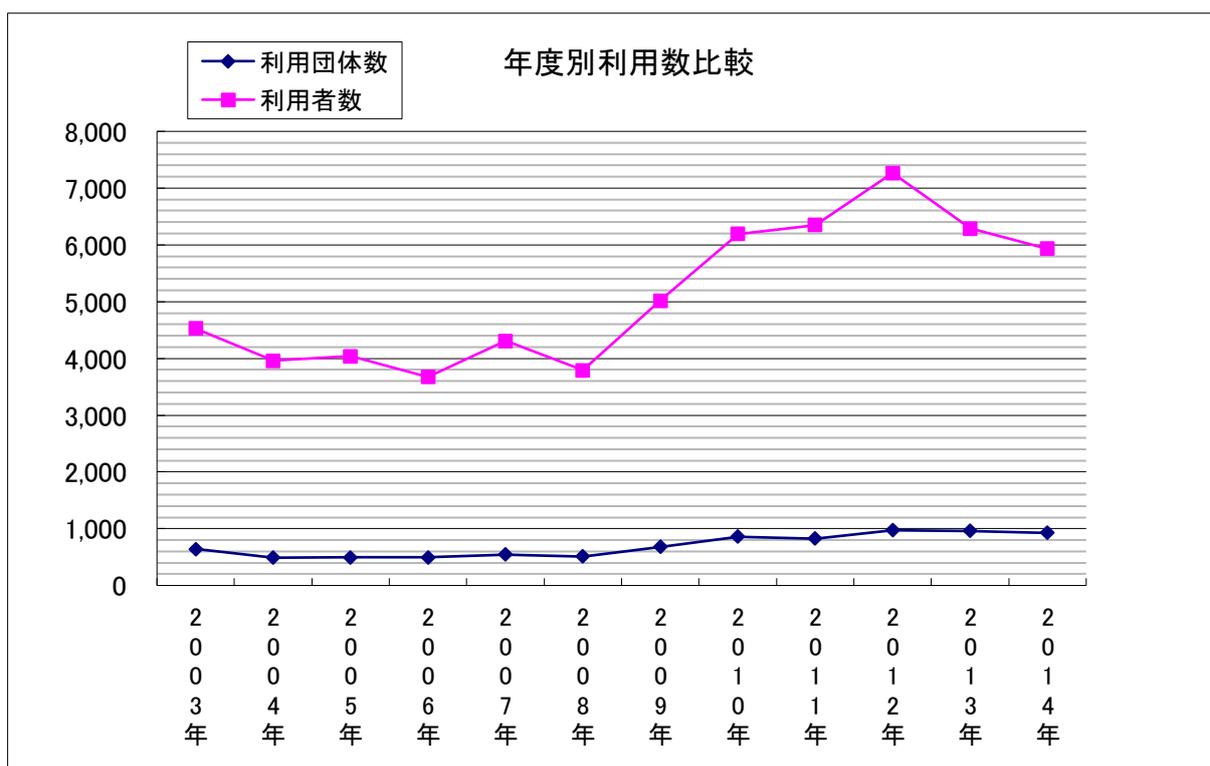
【時間別会議室利用団体数】

利用団体数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
10:00~12:00	22	24	23	20	16	17	20	20	16	13	17	20	228
12:00~17:00	36	37	37	34	26	32	24	34	29	25	34	22	370
17:00~19:00	14	21	15	12	4	9	9	7	10	7	7	4	119
19:00~22:00	18	24	21	16	15	19	13	17	20	15	19	15	212
合計	90	106	96	82	61	77	66	78	75	60	77	61	929



【年度別利用数比較】

	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
利用団体数	640	489	492	496	543	510	682	862	828	972	960	929
利用者数	4,528	3,957	4,037	3,673	4,306	3,790	5,015	6,191	6,352	7,266	6,290	5,932



(2) 市民活動基礎講座ならびに市民活動スキルアップ講座の開催業務

内容

(第1回) 平成26年4月12日(土) 13:30~15:45 参加者: 55名

「持ち味いかして まちを元気に! 人をいかすボランティア活動のすすめ」

市民活動を支える原動力は、その支え手である人である。自発的に動く人=ボランティアの参加は活動の理解者を増やすことにも通じる。一方で、立場や状況の違いからボランティアとの行き違いで悩むケースも少なくない。本講座では今治市を舞台に若者が活躍する3事例を通して、ボランティアのニーズを満たす場づくりの秘訣を学んだ。「チームで動く」「任せてチャレンジの機会にする」など、人をいかす共通のセオリーが3事例にはあり、参加者一同、メモを取りながら学んだ。



▲こどもの絆プロジェクト

福島の子供達を自然豊かな愛媛で受け入れる活動をしている。地域の人とのふれあいベースにした活動は、プログラム作りから学生ボランティアが担う。連鎖的にボランティアが集まるしかけがある。

▲エフエムラチオバリバリ

情報発信留まらず、まちを活気づける拠点と捉えると、まちの元気の源=市民の参画は必須。100名超のボランティアパーソナリティ、内3割は開局当初から参画。

▲さくらんぼの会

頼れるリーダーとの信頼関係の中、自分たちで決め、責任も分担しながら現場を回す高校生たち。「難しい」「かたい」という彼らのボランティア感を変えたのは、プログラムの面白さ。

講座の後半はボランティア活動への参加を呼びかけるメッセージリレーを行った。

4つの団体から活動の趣旨と参加の呼びかけがあり、興味・関心がある対象者に申し込みの方法を個別に伝えた。



(第2回) 平成26年5月25日(日) 10:00~15:00 参加者: 22名

「NPO法人シクロツーリズムしまなみ」、「今治美容協会」の現場体験ツアーを実施した。どちらの活動も「瀬戸内しまのお2014」のイベントの一環で、県内外の来訪者を対象にした活動で、地域活性化を願う市民主体の活動に触れる機会となった。



(第3回) 平成26年9月15日(月・祝) 15:00~17:00 参加者: 45名

「なみかた海の交流センター運営協議会」の現場体験ツアーを実施した。海運・造船が暮らしを支える今治市。バリシップ等のイベント開催はあるものの、海事都市としての歩みや今を伝える資料展示は少ない。波方で進む「焼玉エンジン」の補修、展示のプロジェクトを市内の高校生を中心としたメンバーが見学。主体的に参画する住民の声を聞き、産業遺産の保全の機運を高め、担い手の育成やプログラムの開発を考える機会となった。



■活動後の取り組み■

現場体験のレポートをVTR編集するなど、自発的な取り組みにつながった。



対象	市民活動に関心のある一般市民(高校生中心)
手法	<ul style="list-style-type: none">・担い手の固定化、高齢化などの課題を抱える団体が多い中、高校生を中心とした若者の参画を促すプロジェクトとした。・ボランティアの参加を希望する団体と企画立案から懇談し、団体の活動趣旨を直接伝える機会をつくった。イベントの準備や運営など、参加しやすい活動に参加を呼びかけ、継続的な活動のきっかけとなるよう工夫した。・瀬戸内しま博覧会「しまのわ2014」の開催期間を利用し、島しょ部でのボランティア活動をピックアップするなど、普段できない活動紹介を行った。・若者の社会貢献意識が高まる中、地元の高校生にターゲットを絞り、センターへの来館も促した。
結果課題	活動を継続するためには、理解者を増やすこと、多様な資金源を確保することが求められる。そのためには、団体の信頼性向上が必須で、また同時の適切な情報開示と届けたい人に情報が伝わるしくみが求められる。分かりやすいミッションと透明性ある運営を伝える地道な広報、参加しやすいプログラムの準備を考える機会となった。今後、学生インターンの受け入れ、社会人が仕事の延長線上で手伝える機会構築など、多様な世代が活動とつながる支援ができることを目指したい。

●参考資料●

今治市民活動センターだより

夢サラダ Vol.56

2014.4.1 発行

市民活動の拠点を目指しています。
 「今治市民活動センター」
 指定管理者：(特非) 今治NPOサポートセンター
 【お問合せ】TEL/FAX 0898-25-8234
 E-mail imanpo@nifty.com

2014年度スタート

市民主体の活動を がっつり応援！！

多種多様なサービスを自由に享受できる、暮らしやすいまち。それは個別ニーズに寄り添う多彩な市民活動が根付くまち！新市制10周年を迎える今期も、市民活動の現場を応援します。

ボランティアの人材バンク まちづくりサポーター制度

仕事や趣味などを通じて得た知識、経験や技術を活かせるよう登録していただき、その力を教育・福祉・文化・スポーツなどあらゆる分野でいかしていただけるよう、活動場所や場面を紹介していこうという制度です。個人でもグループでも登録できます。



高校生目線でNPOを伝える！ 市民活動リポーター

目の前の事業に追われる中で消耗し、活動の発信にまで手が回らない。どんなにいい活動をしていても、多くの人に知ってもらわなければ…。そこで立ち上がったのは、地元の高校生。

活動現場に潜入！
レポートしています。



↓ 昨年は14名が活躍。取材先はコチラの5団体



▲こどもの絆プロジェクト*1



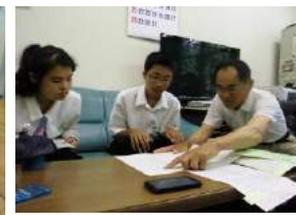
▲マミーズ愛バンドバステド*1



▲今治美容師協会*1



▲ひなたぼっこ*2



しまなみ海道路守り育てる会 ▲ *2

*1 本号で紹介「次のページへGO」 *2 夢サラダ Vol.57 で紹介「ご期待ください」

2014年のプロジェクトはコチラ 参加者募集 テーマは“人”！人が人を呼び、組織が育つ！

事例トーク：人をいかすボランティア活動のすすめ

市民活動の現場を支える原動力は「人」です。自発的に動くボランティアの参加は、組織の元気のバロメーター。多彩な活動事例から「人」をいかすコツを学びます。

- 日時 平成26年4月12日(土) 13:30~15:45
- 会場 今治市総合福祉センター 愛らんど今治
- 内容 事例&サポーター制度紹介・PRタイム

一人ひとりの力と可能性がいきる現場レポート。ボランティアの生の声も聞ける場です。一步を踏み出す機会になるかも！

「ボランティアの応援を求む」NPO・施設の方、飛び込みPRタイムがあります。アピールしませんか？

NPO現場体験ツアー2014

ボランティアは「おもしろそう！」「やりたい」と思った時がはじめ時。あなたのニーズを叶える活動現場へお連れします。

- 日時 平成26年5月25日(日)
- 会場 よしうみバラ公園 (「瀬戸内しまのわ2014」会場)
- 内容 地域活性化を目指すプログラム・の1日運営ボランティア体験

[問合せ・申込先]今治市民活動センター
Tel/Fax: 0898-25-8234

●参考資料●

今治市民活動センターだより

夢サラダ Vol.57

2014.7.1 発行

市民活動の拠点を目指しています。
 「今治市民活動センター」
 指定管理者：(特非) 今治NPOサポートセンター
 【お問合せ】TEL/FAX 0898-25-8234
 E-mail imanpo@nifty.com

持ち味いかして まちを元気に！
 人をいかすボランティア活動
 のすすめ

「ボランティアが来ない」という団体の嘆き、「期待されていない」からやめたというボランティアの声…。立場や状況の違いから起こる行き違いで悩むケースも少なくない。去る4月12日(日)・今治市総合福祉センターで開催した講座では、今治市を舞台に若者が活躍する3事例を通して、ボランティアのニーズを満たす場づくりの秘訣を学んだ。

「可能性が花咲く3つの現場レポート」



▲こどもの絆プロジェクト

福島の子供達を自然豊かな愛媛で受け入れる活動をしている。地域の人とのふれあいをベースにした活動は、プログラム作りから学生ボランティアが担う。連鎖的にボランティアが集まるしかけがある。



▲エフエムラジオババリ

情報発信に留まらず、まちを元気づける拠点と捉えると、まちの元気の源＝市民の参画は必須。100名超のボランティアパーソナリティ、内3割は開局当初から参画。



▲さくらんぼの会

頼れるリーダーとの信頼関係の中、自分たちで決め、責任も分担しながら現場を回す高校生たち。「難しい」「かたい」という彼らのボランティア感を変えたのは、プログラムの面白さ。

●初めから最後まで「参加」できるしかけ

口コミ大事!
 関係機関は全てまわる!

自分達で決め、担う
 チームワーク!

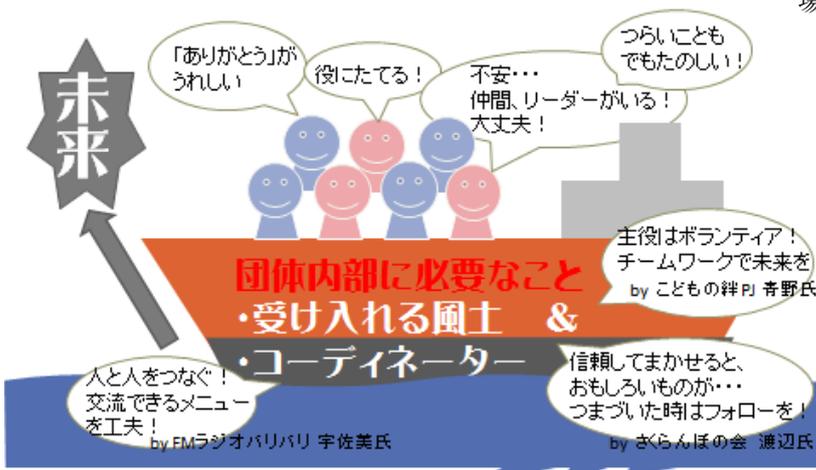


3団体共通の「人をいかすセオリー」: 募集から打上までが一連の流れ

一歩間違えば「烏合の衆」になりがちなボランティア。3事例が「成長の場」、「新しい視点を生む場」となっているのは、①募集段階、②活動経過段階、③活動終了段階に一貫してマネジメントがあるから!

3団体共通の「人をいかすセオリー」
 : 団体の使命(ミッション)への

●市民活動の向かう先・・・未来へ



団体の内部の人と、外部からの応援者(ボランティア)は立場は違えど、同じ目的に向かう仲間になることが大事!

キーワードは「対等性」

大切なことは相互理解。コーディネーターは、ボランティアに「任せ」つつ、何か困っている時に「調整」する動き＝フォローアップができる推進者です!

参加者の声...

- 工夫された発表から、ボランティアの定義が明確になった。
- 調整者・盛り上げる人もいることが分かった。
- 会場の皆とボランティアの楽しさを分かち合えた。
- 高校生等の若い人が考えている・・・うれしかった。
- 若者中心…。子育て後等に参考になる話も欲しかった。

(3) 機関紙発行とこれに付随する情報収集業務

内容	「夢サラダ」(年間2回)、「得夢サラダ」(年間12回)を編集、発行した。また、活動経験のない一般市民に情報を届け、市民活動の意義や魅力を伝えようと、「夢サラダ」配布場所を開拓した。
対象	市民活動団体・一般
手法	・活動の担い手を紹介することで、まちの特性を感じることができる誌面とした。 ・ホームページでも情報を伝えた。
結果 課題	市民活動団体 88 団体、施設・機関 32 箇所に配布した。配布部数は毎月冊子 2015 部、掲示用 350 部となった。身近な地域の魅力を伝える誌面構成としたことで、市民活動経験のない方にも読みやすいとの意見をいただいた。掲載内容は、本会のホームページへ掲載し、多様な方へ情報を届けるよう努めた。より多くの方に購読してもらえるよう、誌面の工夫、配布・掲示場所の開拓に取り組んでいきたい。

(4) 市民活動団体相互の交流推進業務

<p>◆使用者協議会</p> <p>平成 26 年 4 月 23 日 (水) 10:00~11:30 参加者: 12 名</p> <p>事務室使用団体、会議室使用者と合同でセンター防火・避難訓練を行い、その後、今年度のセンター事業の企画内容を説明し、使用者の意見をもらう「使用者協議会」を開催した。今治市民活動センターの運営方針を共有、賛同いただくと共に、使用者は互いの活動を報告しあい、助け合って事業推進したいとの意見が出された。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>平成 26 年 12 月 26 日 (金) 11:30~12:30 参加者: 22 名</p> <p>センター使用者によるセンター大掃除を行い、その後、センターの管理運営業務などについて使用者の意見をもらう「使用者協議会」を開催した。来年度はセンター前歩道設置に伴い、駐車場部分の工事があることを伝え、理解を求めた。これまで通り、集まりやすく、懇談したり、交流したりしやすいセンター運営に努めて欲しいとの要望があった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
--

対象	使用登録団体・市民ボランティア・行政職員
手法	<ul style="list-style-type: none"> ・今治市内の団体の活動紹介の場とする。 ・多様な活動に触れ、活動の広がりを感じてもらえる取り組みとする。 ・センターの使用に主体的に関わっていただけるよう依頼する機会とした。施設・設備、備品などのハード整備の優先順位、講座などのソフト支援の重要事案などへの共通認識構築の場とする。
結果課題	「使用者協議会」の位置づけで、センター事業を話し合う機会となった。会議室や事務所の使い方のルール等の見直し、講座のテーマの検討等、ハード・ソフト両面について、使用者自らが参画しながらセンター運営していけるよう、協議の場を有意義なものにしていきたい。

(5) ボランティアコーディネート業務

内容	ボランティアの応援を求めている方とボランティア活動をしたい方をつなぎ、双方が対等な立場で共に問題解決を図った。
対象	ボランティアの応援を求めている組織・個人 ボランティア活動をしたい方
手法	<ul style="list-style-type: none"> ・今治市社会福祉協議会と連携をとりながらすすめる。 ・情報提供を求めている人には、機関紙「得夢サラダ」やホームページなどを利用して活動を紹介する。
結果課題	年間173件のコーディネーションを行った。これまでボランティア活動のきっかけづくりを目的に、夏休みや冬休みに活動を集約して発信する「サマーボランティア・キャンペーン」「ウインターボランティア・キャンペーン」は、今年度から形式を新たに「ボランティアチャレンジ2014」（愛媛県主催）として参加者を募集。その窓口の機能を果たすことで、今治市内の情報のみならず、愛媛県下の情報の発信や需給調整にも務めた。ボランティアコーディネーションを通して、市民活動団体が多様な人を巻き込み、活動を発展させることができるよう引き続き、調整をしていきたい。

(6) 相談業務

内容	団体設立や運営などのアドバイスを、電話・メール・来所にて日常的に受け付け、対応した。3年目となる支所単位での「出張相談会」は、相談件数は4件と少ないながら、今治市陸地部にある本センターには足を運びにくい島嶼部を中心に好評だったことを受け、今年度も島嶼部4島・6か所で開催した。
対象	市民団体・行政職員
手法	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体が自らの課題を整理し、その解決策を発見することを支援する。 ・職員で対応できない専門的な質問については、地域資源（地域の専門家、他の支援センターなど様々なテーマに応えられる人、組織）を活用し、支援を行う。 ・初歩的な質問については、フロアーに掲示し、来館者に視覚的に知らせる。

結果 課題	<p>団体設立や運営など、150件の相談に電話・メール・来所にて対応した。「ネットワークづくり」「マネジメント」「資金調達」などについての相談が寄せられ、情報提供・サポートを行なった。相談に答えるだけでなく、相手の次のニーズをコミュニケーションの中で引き出し、対応した。「NPO法人設立」の事務的な相談件数が増加したことを受け、相談者に情報を提供する紙媒体の掲示物を充実させた。</p> <p>■使用者の声■</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても親切に対応してくれる。 ・優しく、丁寧で助かる。 ・休みの日や夜間なども相談対応いただけて助かる。 <p>■出張相談会■</p> <p>広域合併した今治市において、周辺地域にお住まいの方にも、地域の人々の支え合い活動、社会サービスの提供などについて、気軽に相談する機会をつくることを目的に開催。昨年に続き、島嶼部に限定して自発的な市民活動の促進、担い手育成を目指し、開催した。島しょ部をメインフィールドに開催される「瀬戸内しまのわ 2014」の民間企画提案についての相談、各支所に配属されている地域起こし協力隊隊員からの相談等、農漁業をいかした旅行者受入等の交流人口拡大による地域活性化に資するプログラム開発の相談が多く寄せられた。</p> <table border="0"> <tr> <td>宮窪会場</td> <td>6月18日(水)</td> <td>10:00~12:00</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>吉海会場</td> <td>6月18日(水)</td> <td>13:30~15:30</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>伯方会場</td> <td>6月20日(金)</td> <td>10:00~12:00</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>大三島会場</td> <td>6月23日(月)</td> <td>10:00~12:00</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>上浦会場</td> <td>6月23日(月)</td> <td>13:30~15:30</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>関前会場</td> <td>6月25日(水)</td> <td>10:00~12:00</td> <td>0件</td> </tr> </table>	宮窪会場	6月18日(水)	10:00~12:00	1件	吉海会場	6月18日(水)	13:30~15:30	1件	伯方会場	6月20日(金)	10:00~12:00	1件	大三島会場	6月23日(月)	10:00~12:00	1件	上浦会場	6月23日(月)	13:30~15:30	0件	関前会場	6月25日(水)	10:00~12:00	0件
宮窪会場	6月18日(水)	10:00~12:00	1件																						
吉海会場	6月18日(水)	13:30~15:30	1件																						
伯方会場	6月20日(金)	10:00~12:00	1件																						
大三島会場	6月23日(月)	10:00~12:00	1件																						
上浦会場	6月23日(月)	13:30~15:30	0件																						
関前会場	6月25日(水)	10:00~12:00	0件																						

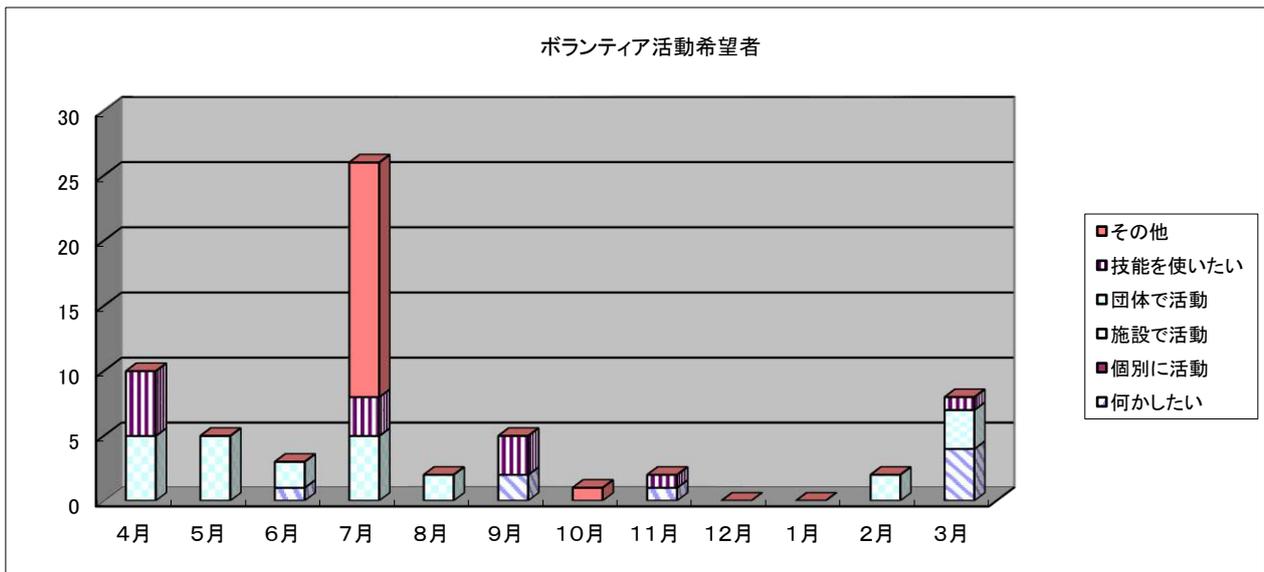
(7) まちづくりサポーター業務

内容	仕事や趣味などを通じて得た知識、経験や技術を、まちづくりのための様々な場所や場面にいかしていただけるよう斡旋・紹介を行う。
対象	ボランティアの応援を求めている組織・個人 ボランティア活動をしたい方
手法	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりサポーターとして活動できる組織・個人を登録し、HPで紹介する。 ・団体が内部の人材では解決できないことがある場合、斡旋する。
結果 課題	ボランティア活動希望者が相談に訪れた際、希望の活動やいかしたいスキルを発揮できる活動がない場合には、まずはサポーターとして登録いただき、マッチングの機会を伺った。イベント開催時に、コーディネーションをする等、個別のニーズを汲んだ橋渡しをすることができた。

コーディネート状況詳細

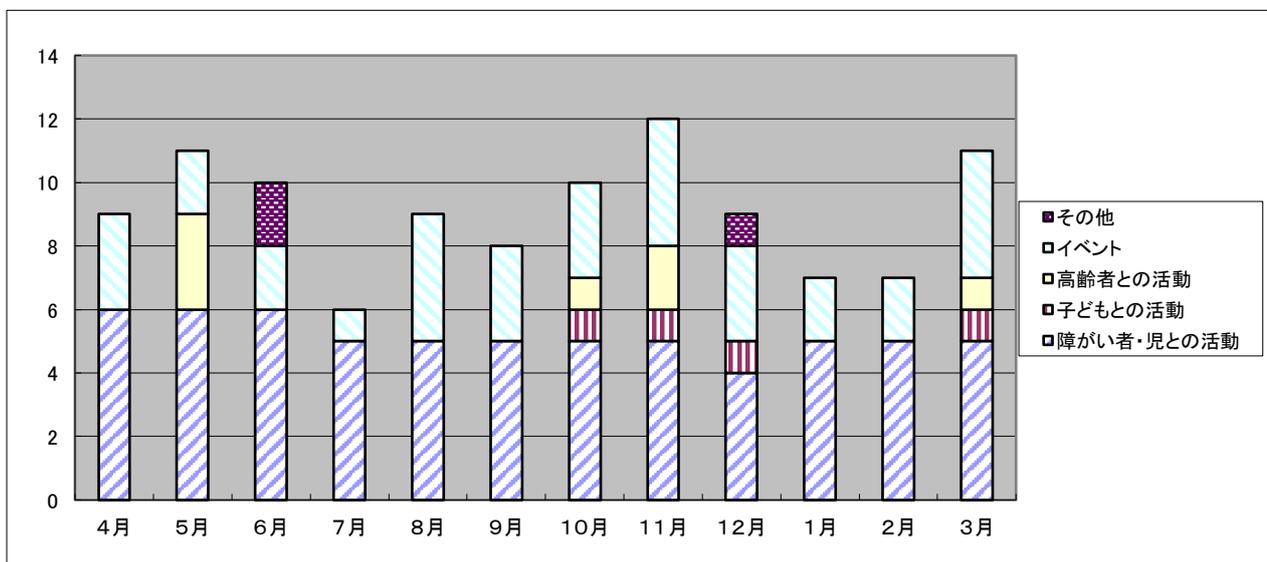
①ボランティア活動希望者

ニーズ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
何かしたい	0	0	1	0	0	2	0	1	0	0	0	4	8
個別に活動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設で活動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
団体で活動	5	5	2	5	2	0	0	0	0	0	2	3	24
技能を使いたい	5	0	0	3	0	3	0	1	0	0	0	1	13
その他	0	0	0	18	0	0	1	0	0	0	0	0	19
合計	10	5	3	26	2	5	1	2	0	0	2	8	64



②ボランティアを受け入れたい組織・個人

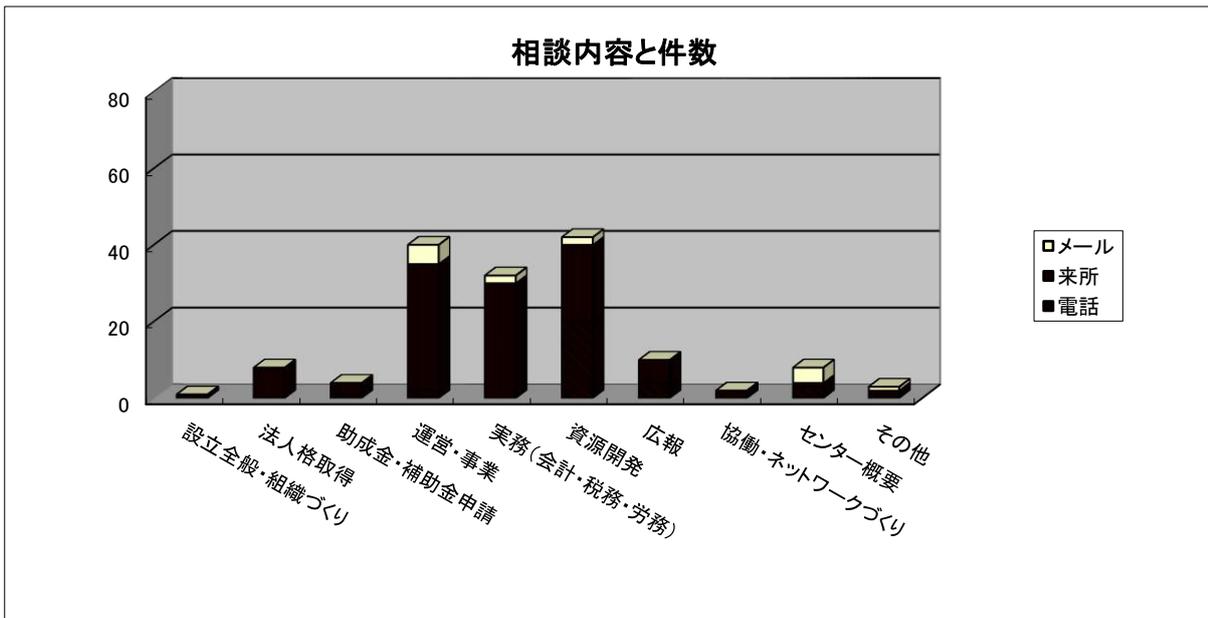
ニーズ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
障がい者・児との活動	6	6	6	5	5	5	5	5	4	5	5	5	62
子どもとの活動	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	4
高齢者との活動	0	3	0	0	0	0	1	2	0	0	0	1	7
イベント	3	2	2	1	4	3	3	4	3	2	2	4	33
その他	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
合計	9	11	10	6	9	8	10	12	9	7	7	11	109



相談状況詳細

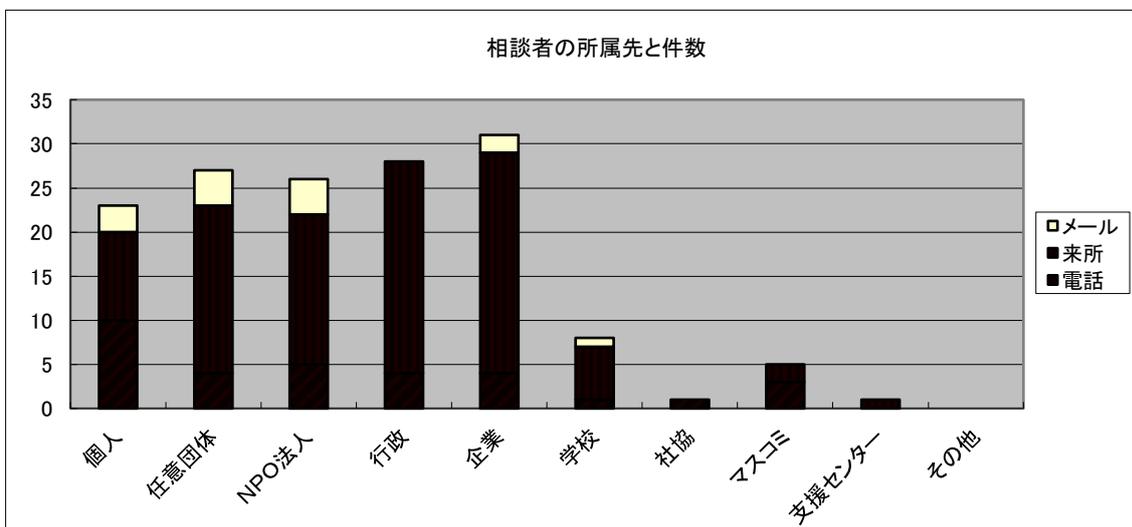
【相談内容と件数】

	電話	来所	メール	合計
設立全般・組織づくり	0	1	0	1
法人格取得	0	8	0	8
助成金・補助金申請	1	3	0	4
運営・事業	2	33	5	40
実務(会計・税務・労務)	0	30	2	32
資源開発	20	20	2	42
広報	4	6	0	10
協働・ネットワークづくり	0	2	0	2
センター概要	3	1	4	8
その他	2	0	1	3
合計	32	104	14	150



【相談者の所属先と件数】

	電話	来所	メール	合計
個人	10	10	3	23
任意団体	4	19	4	27
NPO法人	5	17	4	26
行政	4	24	0	28
企業	4	25	2	31
学校	1	6	1	8
社協	1	0	0	1
マスコミ	3	2	0	5
支援センター	0	1	0	1
その他	0	0	0	0
合計	32	104	14	150



2. その他の事業

(1) 情報提供事業

①トークカフェ in ラジオバリバリ

期間：平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月

協力：エフエムラジオバリバリ

地域の情報を広く社会へ伝える手段であるコミュニティ放送を媒体に市民活動団体紹介、ボランティア情報などを毎週 1 回に発信した。

今年度は、草の根活動の動きを大きなチカラにしていくために、ラジオを通して人と人の交流を深める趣旨で展開した。(今治市民活動センター管理運営事業自主企画事業)様々な分野の活動規模も多様な団体が、ラジオというメディアを通して、広報活動を展開する場となった。日々の暮らしの中で感じる些細な気づきをもとに、身近な仲間たちの小さなグループからはじまる様子が伝えられた点、少人数ながら思いや責任感や役割を分担し、地域に根ざして活動する様子などは、活動未経験者へ大きなメッセージとなった。一方、こうした活動が事業を継続したり、拡充したりする力が不十分な点も見え、今後、一つ一つの活動が成熟した市民社会実現を目指す大きな広がりになるよう、人的交流や相互連携を生み出していくくみの構築を感じた。今後は、事例等の共有をより有意義に進められたり、活動に必要なしくみを学んだりできるような展開を考えたい。

②ホームページの運営

期間：平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月

センター事業の紹介と報告、ボランティア情報などをホームページに随時掲載した。広く情報を受発信することにより、ボランティア活動の仲介コーディネーション業務にも役立った。また、「今治市民活動センター」事業である「まちづくりサポーター」の制度紹介のページを設けた。サービスを提供したい個人・団体の紹介を発信した。NPO 等、ボランティアの応援を求める組織のニーズ紹介等を充実させることが課題である。

(2) 審議会・委員会への参加事業

行政が設置する委員会・審議会へ参加しました。

期間	名称（主催団体）/参加の立場	テーマ・目的
平成 26 年 7 月 18 日 10 月 9 日 1 月 27 日	今治市廃棄物減量等推進審議会 (今治市)	平成 30 年 4 月からの新しいごみ処理施設稼働を念頭に、ごみの減量化及び資源化を推進する施策検討。
平成 25 年 5 月 17 日	中間支援組織ネットワーク会議 (愛媛県)	多様な主体による協働環境整備を目指し、県内の中間支援組織や助成団体の情報共有のために開催。
平成 26 年 11 月 27 日	今治市定住自立圏共生ビジョン懇談会（今治市） 専門委員委嘱	広域合併した今治市のビジョン懇談において、市民活動・ボランティア推進への意見集約

平成 27 年 3 月 23 日	瀬戸内しま博覧会実行委員会愛媛 企画部会 委員委嘱	瀬戸内しま博覧会（しまのわ 2014） のイベント、広報・誘客等の内容検 討。
平成 27 年 3 月 23 日	地（知）の拠点整備事業 第三者評価委員委嘱 （今治明德短期大学）	地域の学びの拠点として整備を進 める事業の外部評価を担当。文部科 学省事業。

（３）講師派遣事業

依頼に基づき、講師を派遣しました。

日時	名称（主催団体）/参加の立場	テーマ・目的
平成 26 年 6 月 7 日	特定非営利活動法人ナルク今治 総会（特非 ナルク今治）	助け合いの輪を広げるしくみ「ナルク」の 今治支部の総会での意見交換への参加。
平成 26 年 10 月 26 日	第 8 回今治タオル体操コンテスト （今治タオル体操愛好会）	地場産品・今治タオルの普及を目指した、 タオル体操のコンテストの審査員を担当。

（４）共同開催事業

①東日本大震災被災地ボランティア活動

ボランティアバス運行

2012 年度から取り組んでいる「東日本復興支援ボランティアバス」のプロジェクトは、今年度よりコンソーシアム形式の組織「チーム今治」として改変した取り組みに移行した。復興という目標を真ん中におき、複数の団体が主体的に参画しながらの柔軟な運行により、現地のニーズに合致した活動を展開した。

被災地での活動

[第 1 回：岩手県宮古市]

「今治タオル体操」の普及

宮古市内で介護予防等を行う組織の担当者や地域リーダーを対象に「今治タオル体操」の指導についてレクチャーした。タオル 1 枚で手軽にできる「今治タオル体操」を地元が自立的に展開できる体制づくりを支援し、仮設住宅や高齢者施設、地域等のご高齢者の生活の質向上に関わる取組には大きな期待が寄せられた。

日程：平成 26 年 5 月 29 日（木）12：00 頃 今治出発

平成 26 年 5 月 30 日（金）～6 月 1 日（日）現地活動

平成 26 年 6 月 1 日（月）3：30 頃 今治到着

活動者：5 名



※定款上、「その他の事業」は実施しなかった。

3. 会議に関する事項について

(1) 総会

①第14回通常総会

日時：平成26年4月24日（火）19：00～
会場：今治市民活動センター 大会議室
議題：2013年度事業報告・収支決算報告
2014年度事業計画・収支予算の件

(2) 理事会

①2014年度第1回理事会

日時：平成26年4月24日（木）12：30～
会場：今治市民活動センター 大会議室
議題：2014年度事業計画・収支予算の件
役員・有給役員の件
総会に付すべき事項の件

②2014年度第2回理事会

日時：平成25年6月26日（木）12：30～
会場：今治市民活動センター 大会議室
議題：理事長選任の件
今治市民活動センター事業「出張相談会」の件
今治市民活動センター事業「NPO 現場体験ツアー」の件
委員会・審議会への参加の承認

③2014年度第3回理事会

日時：平成26年8月19日（火）12：30～
会場：今治市民活動センター 大会議室
議題：東日本大震災復興支援ボランティアの件
今治市民活動センター事業「NPO 現場見学ツアー」の件

④2014年度第4回理事会

日時：平成26年11月27日（木）12：30～
会場：今治市民活動センター 大会議室
議題：今治市民活動センター事業「助成事業説明会」（開催中止）の件
講師派遣の承認
2015年度事業 企画検討

⑤2014年度第5回理事会

日時：平成25年12月26日（金）19：00～
会場：ゆきの
議題：今治市民活動センター事業の進捗状況報告

⑦2014年度第6回理事会

日時：平成26年3月26日（木）12：30～
会場：今治市民活動センター 大会議室
議題：2015年度事業計画・予算
2014年度総会報告事項
役員の再任などの件